



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 国際紙パルプ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9274 URL <http://www.kppc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 栗原 正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 橘 辰彦 (TEL) 03-3542-4169
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	166,594	△11.2	△7,566	—	△8,218	—	△7,236	—
2020年3月期第2四半期	187,655	2.2	708	△30.3	869	△18.5	983	39.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △9,099百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △1,104百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△100.48	—
2020年3月期第2四半期	13.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	266,772	37,697	13.9
2020年3月期	189,317	47,277	24.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 37,097百万円 2020年3月期 47,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	428,000	12.2	△6,100	—	△6,600	—	1,300	5.5	18.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 26 社 (社名) Antalis S.A.、Antalis Limited、Antalis France、Antalis Gmbh、
Antalis Austria Gmbh、Antalis AG、Antalis Portugal, S.A.、
Antalis Iberia, S.A.、S.A. Antalis、Antalis Oy、Antalis S.R.O.、
Antalis Poland Spolka Z Ograniczona Odpowiedzialnoscia、
Antalis S.A. (Romania)、Inversiones Antalis Holdings SPA、
Antalis Chile SPA、Antalis Asia Pacific Pte. Ltd.、
Antalis Do Brasil Produtos para a industria grafica Ltda、
Antalis Group、Antalis Overseas Holdings Limited、
Antalis Holdings Limited、Antalis Participations、
Antalis Investments、Antalis Holding、
Antalis Group (Holdings) Limited、Map Merchant Group Limited、
Map Merchant Holdings Gmbh

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	75,077,406株	2020年3月期	75,077,406株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,278,133株	2020年3月期	2,427,465株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	72,018,930株	2020年3月期2Q	73,144,198株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は2020年12月4日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10
(追加情報)	11
(会計上の見積り)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が抑制され、極めて厳しい状況が継続いたしました。わが国経済におきましても、米中貿易摩擦の影響等による景気の停滞懸念が続く中、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が加わり経済活動が大きく制限され、国内景気は急速に悪化しましたが、緊急事態宣言の解除後は経済活動の再開の動きが広がり、新しい生活様式の下でその持ち直しが期待されております。

紙パルプ業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が、世界各国の紙・板紙生産に大きく影響し、前年を下回る結果となっております。

国内紙パルプ業界におきましては、外出自粛やイベント等の中止によるチラシ等の減少に加え、テレワークの拡大によりオフィス需要が減退し、紙の販売数量は減少しました。板紙においても、外出自粛による巣ごもり消費が一部寄与しましたが、経済活動の停滞と自然災害による青果物の収穫量減少などが重なり、販売数量は減少しました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,665億94百万円（前年同期比88.8%）となりました。営業損益においては、売上総利益は前連結会計年度に取得したSpicers Limited（以下、Spicers）の買収効果により前年比で増益となりましたが、香港・中国の取引先において売掛債権の回収遅延が生じたことから貸倒引当金繰入額81億30百万円を計上した結果、販売費及び一般管理費が大幅に増加し、営業損失は75億66百万円（前年同期は7億8百万円の営業利益）、持分法投資損失を9億41百万円計上したことにより経常損失は82億18百万円（前年同期は8億69百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は72億36百万円（前年同期は9億83百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績をセグメント別にみると次のとおりです。

<国内拠点紙パルプ等卸売事業>

紙では、外出自粛やイベント等の中止の影響でグラフィック用紙を中心にチラシ・広告等の使用量が減少した半面、巣ごもりにより学習ドリルや書籍等の販売が堅調に推移しましたが、販売数量及び売上高は前年割れとなりました。板紙では、飲料用包装資材向けの段ボール原紙などは堅調でしたが、インバウンド需要の消滅や外出自粛により、主に土産用菓子箱などに使用される白板紙が大きく減少し、販売数量及び売上高は前年割れとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期連結累計期間比18.6%減の1,208億79百万円となり、営業利益は18.3%減の16億40百万円となりました。

<海外拠点紙パルプ等卸売事業>

豪州を中心としたオセアニア地域では、昨年当社グループに加わったSpicersが収益に大きく貢献し、販売数量・売上高は前年比で大幅な増加となりました。

香港・中国では、中国がいち早く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を脱したこともあり、塗工紙・段ボール原紙の販売が堅調に推移し、販売数量・売上高ともに前年を上回りましたが、Samson向け売上債権の取立不能又は取立遅延の恐れが発生したことから、多額の貸倒引当金繰入額を計上したため、大幅な営業損失となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期連結累計期間比17.2%増の450億90百万円となり、営業損失は82億2百万円（前年同期は76百万円の営業損失）となりました。

<不動産賃貸事業>

全国主要都市のオフィスビル市場は、これまで平均空室率は低下し、平均賃料も上昇傾向が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うテレワーク等による勤務形態の変化からオフィス面積縮小の動きもあり、未だ低水準ではあるものの平均空室率は上昇基調に転じつつあります。今後、賃料相場への影響を含め注視する必要性が高まっております。

この様な状況下、当社グループでは主力物件であるKPP八重洲ビルなどにおいて昨年下半年に賃料改定やテナント

の入れ替えが行われたことが寄与し、前年比で増収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期連結累計期間比4.2%増の6億23百万円となり、営業利益は15.5%増の3億39百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べ774億54百万円増加し、2,667億72百万円となりました。これは主に、Antalis S.A.の買収による商品の増加等によるものであります。

負債額は、前連結会計年度末に比べ870億34百万円増加し、2,290億75百万円となりました。これは主に、Antalis S.A.の買収による買掛金の増加及び子会社株式取得に伴う短期借入金等の有利子負債の増加によるものであります。

純資産額は、円高に伴う為替換算調整勘定の減少、親会社株主に帰属する四半期純損失等により、前連結会計年度末に比べ95億79百万円減少し、376億97百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は13.9%となり、前連結会計年度末に比べ11.0ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日公表の予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,786	25,146
受取手形及び売掛金	95,698	104,620
電子記録債権	10,926	9,521
商品	19,764	39,358
その他	2,921	10,308
貸倒引当金	△550	△3,565
流動資産合計	136,546	185,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,983	6,759
土地	18,498	18,810
その他（純額）	3,189	16,710
有形固定資産合計	27,671	42,280
無形固定資産		
のれん	2,365	3,862
その他	272	4,382
無形固定資産合計	2,637	8,245
投資その他の資産		
投資有価証券	20,606	18,272
退職給付に係る資産	276	10,357
その他	2,335	10,519
貸倒引当金	△756	△8,293
投資その他の資産合計	22,462	30,855
固定資産合計	52,771	81,381
資産合計	189,317	266,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,471	84,375
電子記録債務	3,361	3,100
短期借入金	30,303	61,302
コマーシャル・ペーパー	4,000	4,000
未払法人税等	705	6,298
引当金	1,048	2,479
その他	6,404	32,331
流動負債合計	121,293	193,887
固定負債		
長期借入金	13,504	13,675
退職給付に係る負債	317	4,534
引当金	116	432
その他	6,807	16,544
固定負債合計	20,746	35,187
負債合計	142,040	229,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,723	4,723
資本剰余金	8,952	8,952
利益剰余金	31,151	23,141
自己株式	△845	△1,089
株主資本合計	43,981	35,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,781	2,408
繰延ヘッジ損益	1	5
為替換算調整勘定	355	△1,093
退職給付に係る調整累計額	64	49
その他の包括利益累計額合計	3,202	1,369
非支配株主持分	92	600
純資産合計	47,277	37,697
負債純資産合計	189,317	266,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	187,655	166,594
売上原価	177,080	155,272
売上総利益	10,574	11,322
販売費及び一般管理費	9,865	18,888
営業利益又は営業損失(△)	708	△7,566
営業外収益		
受取利息	315	344
受取配当金	238	262
為替差益	—	30
その他	153	162
営業外収益合計	707	798
営業外費用		
支払利息	290	381
売上債権売却損	17	15
為替差損	51	—
持分法による投資損失	120	941
その他	66	112
営業外費用合計	546	1,450
経常利益又は経常損失(△)	869	△8,218
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	662	6
資産除去債務戻入益	40	—
負ののれん発生益	—	1,679
その他	10	—
特別利益合計	715	1,688
特別損失		
事業構造改善費用	—	175
固定資産除却損	12	1
事業整理損	14	—
為替換算調整勘定取崩額	36	—
減損損失	—	18
投資有価証券評価損	—	169
その他	0	—
特別損失合計	63	365
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,521	△6,894
法人税、住民税及び事業税	583	95
法人税等調整額	△28	274
法人税等合計	555	370
四半期純利益又は四半期純損失(△)	966	△7,265
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	983	△7,236

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	966	△7,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,492	△372
繰延ヘッジ損益	△26	3
為替換算調整勘定	△377	△620
退職給付に係る調整額	△55	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△118	△829
その他の包括利益合計	△2,070	△1,834
四半期包括利益	△1,104	△9,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,086	△9,070
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2020年7月21日にAntalis S.A.の株式を取得したことにより、同社及びその子会社73社を当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、同社とその子会社73社の内、Antalis Limited、Antalis France、Antalis GmbH、Antalis Austria GmbH、Antalis AG、Antalis Portugal, S.A.、Antalis Iberia, S.A.、S.A. Antalis、Antalis Oy、Antalis S.R.O.、Antalis Poland Spolka Z Ograniczona Odpowiedzialnoscia、Antalis S.A. (Romania)、Inversiones Antalis Holdings SPA、Antalis Chile SPA、Antalis Asia Pacific Pte. Ltd.、Antalis Do Brasil Produtos para a industria grafica Ltda、Antalis Group、Antalis Overseas Holdings Limited、Antalis Holdings Limited、Antalis Participations、Antalis Investments、Antalis Holding、Antalis Group (Holdings) Limited、Map Merchant Group Limited、Map Merchant Holdings GmbHの25社が特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内拠点 紙パルプ等 卸売	海外拠点 紙パルプ等 卸売	不動産賃貸	計		
売上高						
外部顧客への売上高	148,590	38,465	599	187,655	—	187,655
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,306	281	6	2,595	△2,595	—
計	150,897	38,747	605	190,250	△2,595	187,655
セグメント利益又は損失(△)	2,009	△76	293	2,226	△1,517	708

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,517百万円は、セグメント間取引消去△4百万円及び全社費用△1,513百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第2四半期連結会計期間より、Spicers Limitedの株式を取得し、同社及びその子会社9社を連結の範囲に含めております。それにより、連結の範囲に含めない場合と比べ、「海外拠点紙パルプ等卸売」セグメント資産が14,307百万円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外拠点紙パルプ等卸売」セグメントにおいて、Spicers Limitedの株式取得に伴い、当第2四半期連結会計期間より、同社及びその子会社9社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては2,001百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内拠点 紙パルプ等 卸売	海外拠点 紙パルプ等 卸売	不動産賃貸	計		
売上高						
外部顧客への売上高	120,879	45,090	623	166,594	—	166,594
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,072	147	8	2,228	△2,228	—
計	122,951	45,237	632	168,822	△2,228	166,594
セグメント利益又は損失(△)	1,640	△8,202	339	△6,222	△1,344	△7,566

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,344百万円は、セグメント間取引消去△3百万円及び全社費用△1,340百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 当第2四半期連結会計期間より、Antalis S.A.の株式を取得し、同社及びその子会社73社を連結の範囲に含めております。それにより、連結の範囲に含めない場合と比べ、「海外拠点紙パルプ等卸売」セグメント資産が101,351百万円増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

「海外拠点紙パルプ等卸売」セグメントにおいて、Antalis S.A.の株式取得に伴い、当第2四半期連結会計期間より、同社及びその子会社73社を連結の範囲に含めております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,679百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業 Antalis S.A. (以下「Antalis」という)

事業の内容 紙・包装資材、サイン&ディスプレイ消耗部品等の卸売

②企業結合を行った主な理由

当社グループは、循環型社会の実現や教育・文化・産業の振興への貢献を経営理念として掲げ、日本国内並びにアジア・パシフィック圏を中心に幅広く事業展開を行っております。また、本年度より開始した第二次中期経営計画「事業育成期」においては、その基本戦略の一つとして外部資源の獲得による成長（インオーガニック・グロース）を取り込むことで、持続的な成長を図ることを標榜しております。

一方、Antalisは欧州最大手の紙商であり、ヨーロッパを中心に、南米、アジア・パシフィック地域において紙および紙関連製品等の卸売を手掛けるリーディングカンパニーであります。また、同社はポストグラフィックペーパーとして成長力の高いパッケージング事業やビジュアルコミュニケーション事業（サイン&ディスプレイ等）に強みを持ち、事業ポートフォリオ改革やEコマースへの投資も進めております。

欧州諸国に事業基盤を有するAntalisと、アジア・パシフィック圏を中心に事業基盤を有する当社の組み合わせは、高い補完関係にあるほか、Antalisとの協業による製品開発やブランド力の育成等、シナジーを追求することが期待できると判断し、本件株式譲渡予約契約並びに株式譲渡契約の締結に至りました。また、同社を当社グループの傘下に収めることで、当社海外事業のトレードビジネスとAntalisの紙商ビジネスによって更なる競争力の強化に繋がるものと判断しております。今後はアジア・パシフィック圏のみならず、欧州を含め世界各地で積極的に事業展開を行い、持続的な発展の実現を目指してまいります。

③企業結合日

2020年7月21日

④企業結合の法的形式

現金を対価とした株式の取得

⑤結合後企業の名称

変更ありません。

⑥取得した議決権比率

83.6%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価として株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2020年7月1日とし、連結決算日と同社の決算日に3ヶ月の差異があるため、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。よって、当第2四半期連結損益計算書においては、被取得企業の業績を含んでおりません。

(3) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価（現金及び預金）	955百万円（7.7百万ユーロ）
取得原価	955百万円

(4) 負ののれん発生益の金額、発生原因

①負ののれん発生益 1,679百万円

なお、負ののれん発生益の金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

②発生原因

企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったためであります。

(5) その他

当社は、2020年3月30日開催の取締役会において、Antalisの株式を公開買付する事を決議し、Antalis株式公開買付契約を締結しております。公開買付期間の終了日である2020年10月28日までにAntalisの発行済み株式ならびに議決権の90%以上を取得し、フランス国内における諸法令に基づきスクイーズアウトの実施により2020年11月5日にその株式の全部を当社が取得しました。なお、同日にAntalisは上場廃止となっております。

(追加情報)

(債権の取立不能または取立遅延のおそれについて)

当社連結子会社であるDaiEi Papers (H.K.) Limited (以下、「香港大永」という)及び慶真紙業貿易(上海)有限公司(以下、「慶真紙業」という)の取引先の親会社であるSamson Paper Holdings Limited(香港証券取引所上場、以下「Samson」という)が、2020年7月20日付で、バミューダ最高裁判所に対して会社の再建に向けた暫定清算手続(“light touch” provisional liquidation)の申請を行った旨を開示したことに伴い、同社連結子会社であるSamson Paper Company Limited及びSamson Paper (Beijing) Company Limited等(以下、「当該取引先」という)に対して有する売掛債権に回収遅延が生じました。

香港大永及び慶真紙業が当該取引先に対して有する売掛債権残高は、9月30日現在15,370百万円であります。また、香港大永及び慶真紙業はいずれも12月決算会社であるため、当第2四半期連結財務諸表に計上されている6月末現在の売掛金は13,779百万円であります。このうち、既に回収済みの金額及び今後の回収可能見込額を除いた8,130百万円を販売費及び一般管理費として貸倒引当金繰入額に計上いたしました。また、1年以内に回収されないことが明らかな売掛債権8,260百万円については、投資その他の資産「その他」に振り替えております。

なお、当社、香港大永及び慶真紙業は、引き続き売掛債権の回収交渉に注力するとともに、当該取引先に対して売買代金支払請求訴訟を提起するなど債権回収に努めております。今後も、連結子会社の会計期間に対応して発生している債権を計上するとともに、Samsonグループに関する状況及び当社グループの債権回収状況を踏まえ、必要に応じ、回収見込額を見直していく予定であります。

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当社グループの業績につきましても、マイナスの影響が発生しております。今後はその影響が徐々に回復するものと想定しており、前連結会計年度末における会計上の見積りから重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結会計期間より、Antalis S.A.及びその子会社73社を連結の範囲に含めておりますが、現時点においては会計上の見積りに重要な影響を与えるものではないと判断しております。ただし、今後の状況の変化によっては、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。